

市民協働センターだより

3 月

令和 2 年

vol.47



問合せ

○ながはま市民協働センター
ながはま文化福祉プラザ1階
(さざなみタウン内)

開所時間：8時30分～21時30分
休所日：火曜日、12月29日～1月3日
〒526-0037 高田町12番34号

○北部サテライトセンター
きのもと交遊館

開所日・時間：水・日曜日 9時～21時
〒526-0425 木之本町木之本1118

☎ 65-6525

✉ katsudou@city.nagahama.lg.jp

市民活動に関する事務作業や打ち合わせなどにご利用ください!

TOPIC | 今月の情報コーナー

こんな場所あります

シェアスペースやフリースペースと呼ばれる、仕事や作業をするための「場」の共有。市内でも徐々に増えています。今回は、「学び」を目的とした場を紹介します。

カフェ こまいてい (駒井邸) 学習室

北国街道木之本宿泊い、中山郁英さん恵梨子さん夫妻が営むカフェ「cafe komai-tei(駒井邸)」では、カフェスペースを夜間不定期で18歳以下のための学習室として開放。中山さん夫妻は「学校でも塾でもない、自由な場として活用してほしい」と話します。

以前は医院として親しまれた建物のよさを活かし改装し、落ち着いた空間になっています。学校や部活の日常から離れ「カフェで学習」という少し特別な時間を過ごせそうです。

今後は、中高生向けのゲストトークなども開催し、出会いや交流を通じた学びの場にしたいと企画。地元の若い世代が行き交う拠点になっていきそうです。

【住 所】木之本町木之本 1110

【開放日時】月に1～2回 19時～21時

【利用料】100円(お茶代)

☎ cafe komai-tei(駒井邸)

Instagram▶



▲中山さん夫妻があたたかく出迎えてくれます

火曜日の読書室

市内でまちづくりに取り組む角佳宣さんが、自宅の一部を開放し読書や学習の場として提供。「自分が資格試験取得の学習を進めているので、せっかくなら時間と場を共有しよう」との経緯です。

角さんが手作業で改装した民家の一室で、センノキの1枚板の大きなテーブルが特徴。定員は4人ほどで、各々学習や読書の時間を過ごします。

手元にあるとついつい触ってしまいがちなスマホとパソコンは原則不使用。まちなかを横断する米川沿いにあり、

窓から川の流れをぼんやり眺めているだけで息抜きになります。自宅で「積ん読」になっている本を手にとどうぞ。

【住 所】大宮町9-3

【開放日時】毎週火曜日 13時～15時
19時～21時(7月まで)

【利用料】無料

【その他】飲み物の持ち込み可

☎ 火曜の読書室 角

✉ zaimokuboy@gmail.com



▲1枚板の大きなテーブルを囲って読書タイムはいかが

ながはま文化福祉プラザ
臨時休館のお知らせ

4月15日(水)、長浜曳山祭のため、さざなみタウン ながはま文化福祉プラザ(長浜まちづくりセンター、長浜図書館、長浜市地域福祉センター、ながはま市民協働センター)は休館します。

☎ 文化福祉プラザ室(☎65-6907)

こんな活動してます!

「人権」は、人が生まれながらにして持つ幸せに生きる権利のこと。とはいえ、性別や人種・民族・移住地などによって差別が解消されていない現状があります。こうした人権問題を学び、関心を高めていこうと、市民有志約10人で、平成29年に発足。

年に数度開催するセミナーでは、毎回研究者などのゲストを招き、人権問題の現状について聞き、話し合いを行っています。また年に一度はコンサートなども開催。難しそう、とっつきにくいという印象を持たれがちなテーマについて、楽しみながら触れてもらおうとの思いが込められています。

個人として人権への意識を高める機会とするだけでなく、所属する企業や団体などで人権研修の担当として学びたいという人にもおすすめ。まずはお気軽にお問い合わせください。

湖北じんけんネットワーク



☎ 湖北じんけんネットワーク 由邊
(☎090-5640-9937)

セミナーは誰でも受講可。会員登録で、行事などを優先告知します。

今月の表紙

地域ぐるみで子どもたちを育ててきた杉野小・中学校は、この3月で幕を閉じます。通う学校が変わっても、子どもたちを見守る地域の人々の笑顔は変わることはありません。(2月1日撮影)

